

## 釜山国際建築デザインコンペ最優秀賞受賞！—受賞者のコメント—

### Best prize in the Busan International Architectural Design Competition! —Comments from prize winners

8月20日から24日の4日間、韓国釜山市にて国際建築デザインコンペが開催されました。都市デザイン研から窪田准教授とM1 李峰浩君、空間計画研からM1 金令牙さんが参加し、見事最優秀賞に輝きました！

text\_yamashita

Congratulation! There was hold the Busan International Architectural Design Competition in Busan, Korea on August 20th to 24th. Our teacher Mrs.Kubota and two M1 students (Mr.Lee and Ms.Kim) participated in the competition and won the first prize!

## 海外コンペ奮闘記

M1 李 峰浩

今回のコンペは7月30日（金）の韓国釜山への訪問見学から始まり、提案に向けたWSは8月20日から24日まで4日間開催されました。テーマは「都市の保存と再創出」で、70年の歴史があるにも関わらず、現在衰退しているチャガルチ干物市場が計画対象地でした。このコンペには、地元韓国、日本、中国、カザフスタンから総勢21チームが参加しました。

私たちは計画対象地に、若者の職業訓練のためのシェアハウスやチャレンジショップをリノベーションとインフィルの形で提案しました。エコシステムを設けたUDCJ（Urban Design Center Jagalchi）と住居施設を兼備した図書館、時間によって用途が変わるフリーマーケット、そしてその三つの拠点から全地域に若者が住めるシェアハウスが広がるイメージです。

二日間はパネルの作成作業で大忙しでしたが、チューターの窪田先生のご指導のもと、見事慶應大学と共に最優秀賞を獲得することができました。さらに最終日には他大学の学生や先生方と交流ができ、とても勉強になりました。

今回のWSを通じて、現在の都市の保存と再生のあり方について新しいデザインアプローチを学び、そして納得のできる提案に辿りつくことができ、とても貴重な経験となりました。



▼提案イメージ ▲賞状を手に記念撮影(左からM1 金、窪田先生、M1 李)



## 韓国の世界遺産探訪

M1 金 令牙



▲良洞村の家々

寝る間も惜しんだ四日間のWSを終え、リラックス(?)した気持ちで韓国の伝統的建築物の見学へ。向かったのは、慶州市内から20km離れた良洞（ヤンドン）村でした。慶州と言えばその昔、新羅（紀元前57～935年）の首都として、そして仏教文化が栄えた都市として有名です。

良洞村では朝鮮時代の建築物が良好な保存状態のまま残っており、現在は約150世帯740人余りが生活しています。両班（朝鮮時代の貴族）の暮らしを窺うことのできる瓦葺きの古い建築物や、藁葺きの家々が数多く保存されていました。国内に数ある民俗村の中でも、良洞村ほど保存状態がよく、今なお村人がごく普通に生活している村は例がありません。「家屋と書院など伝統的建築物の調和と配置方法及び儒教文化が朝鮮時代の社会構造と儒教的両班文化を良く表しており、長年の歳月を維持している点が世界遺産にふさわしい。」とユネスコにも評価されており、ちょうど私たちが訪れた8月に世界文化遺産に登録されました。

今回の見学では、朝鮮時代の伝統的建築物はもちろん、自分の先祖の生活文化についても新たな発見が出来、とても有意義な旅となりました。

## プロジェクト報告



### 神楽坂 KAGURAZAKA-project プロジェクト

8月は各PJが調査にWSに大忙しの一ヶ月でした。  
今号は神楽坂PJと鞆PJの活動の様子をお伝えします！！

## 登録文化財申請に向けた詳細調査

M1 吉田 健一郎

8月23日から27日にかけて、神楽坂の矢来能楽堂、和可菜旅館、宮城道雄記念館の3件で登録文化財申請に向けた詳細調査を行いました。NPO法人粋なまちづくり倶楽部の建築士の方々とともに、登録に必要な建物の図面を作成するために実測を行ったり、建築年代を特定するための棟札を屋根裏に入って捜したりと、文化的に価値のある日本建築を目の前に実践的な作業にあたりました。

連日猛暑の中の調査を、時には建築士の方に知識を「鍛えられ」、最終日には永瀬先生にも手伝っていただきながら、なんとか乗り切ることが出来ました。



▲実測調査に取り組む神楽坂PJメンバー

## 勉強会&報告会

8月24日(火)には住民の方との登録文化財に関する勉強会に参加し、他都市における文化財に関する先進事例を紹介するプレゼンを行いました。プロの建築士やまちづくりに熱心な住民の方々の前で発表することは、プロジェクトに参加して以来初めてのプレゼンである私にとって非常に緊張感のあるものでした。しかし住民の方々からは神楽坂にも活かせる事例があったという声をいただき、安堵と共に大きな達成感を得られました。

さらに8月26日(木)には、新宿区役所にてここまでの調査の進捗状況を報告し、私たちが見つけた「素敵な建物」を区の方々に紹介しました。発表を通して、神楽坂にはまだ多くの魅力ある建物が眠っているということが新宿区の方々にも伝わったかと思います。今後も今年度中に登録を目指す物件についての調査や資料作成を継続していく予定です。

調査の合間を縫ってのプレゼンが続き疲労困憊でしたが、神楽坂に貢献していけることを実感できる、喜びの多い8月後半となりました。



▲勉強会の様子



### 鞆 TOMO-project プロジェクト

## ヨルトモ 2010 説明会開催！

text\_yasukawa



▲ヨルトモ説明会の様子

8月29日(日)に鞆の浦にあるフリースペース「白壁」にて、今年度のヨルトモに向けた住民への説明会を行いました。

一通りの説明の後、議論の時間を設けたのですが、出席者ほぼ全員が発言するという活気のあるものになりました。論点

は住民の方の思いからヨルトモの目的まで様々で、私たちが住民の方に求められているもの、期待されていることを改めて肌で感じる事ができました。

今年のヨルトモのテーマは修復工事を終えた茶屋蔵空間を体験していただくこと、そして少しでも多くの住民の方を巻き込み一緒につくることです。ヨルトモ当日の昼からは2つのワークショップも開催する予定です。9月25日、26日のヨルトモ本番まであと2週間。準備に大忙しの毎日が続いていますが、少しでも多くの人に参加してもらえるよう、ラストスパート、頑張ります！

## Information

### 開催迫る！

#### ヨルトモ 2010 鞆とつながる

開催日時：  
9月25日(土)、26日(日)  
10:00～21:00頃まで

場所：広島県福山市鞆の浦

詳細は <http://yorutomo.web.fc2.com/2010/index.html> をご覧ください。

### 9月の予定

9月14～15日 足助PJ現地調査  
9月17～19日 鞆PJ現地調査  
9月22～25日 高山PJ現地調査  
9月25～26日 鞆PJ「ヨルトモ2010」開催  
9月27日 平成22年度東京大学秋季学位記授与式

## ✦ 編集後記

山下 航司

例年にも増して猛暑日が続いた夏も終わりを告げ、涼しげな風とともに秋の足音がゆっくりと聞こえてきました。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋。秋には様々な楽しみ方があります。これから色づき始めるであろう木の葉達のように、私達も秋を思い思いの色に染め上げて爽やかな季節にしたいですね。バラ色桃色などと夢のようなことは言わないまでも(笑)、せめて悲しいセピア色にならないよう、日々奮闘していきたくと思います！